Imagica Robot Holdings Inc.

NEWS RELEASE

各　位

平成 26 年 3 月 31 日

会　　社　　名　株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス
代表者の役職氏名　代 表 取 締 役 社 長　長 瀬 朋 彦
（コード番号：６８７９　東証第二部）
問 合 わ せ 先　取締役常務執行役員 経営企画本部担当　角 田 光 敏
Ｔ　Ｅ　Ｌ　０３－６７４１－５７５０

フォトロンがスカパーJSAT に
番組ファイル納品プラットホーム「HARBOR」を納入

～日本初、CS 放送事業者からの番組ファイル納品を本格始動～

当社子会社の株式会社フォトロンは、アジア最大の多チャンネル放送・衛星通信事業者のスカパーJSAT株式会社に番組ファイル納品プラットホーム「HARBOR」を納入し、スカパー東京メディアセンターTMCプレイアウトへの番組ファイル納品の運用が開始されましたので、お知らせいたします。

CS放送事業者などの外部企業から放送局への番組ファイル納品をネットワーク経由で本格運用するのは、日本ではスカパーJSATが初めてとなります。

（添付資料　全 3 枚）
株式会社フォトロン　ニュースリリース
『スカパーJSAT 株式会社に番組ファイル納品プラットホーム「HARBOR」を納入
～CS 放送事業者からの番組ファイル納品を本格始動～』

以上



2014.3.31

スカパーJSAT 株式会社に番組ファイル納品プラットホーム「HARBOR」を納入

～CS 放送事業者からの番組ファイル納品を本格始動～

株式会社フォトロン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長　布施信夫）は、アジア最大の多チャンネル放送・衛星通信事業者であるスカパーJSAT　株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長　高田真治、以下：スカパーJSAT）に、番組ファイル納品プラットホーム「HARBOR」を納入。スカパー東京メディアセンターTMCプレイアウトへの番組ファイル納品の運用が開始されました。

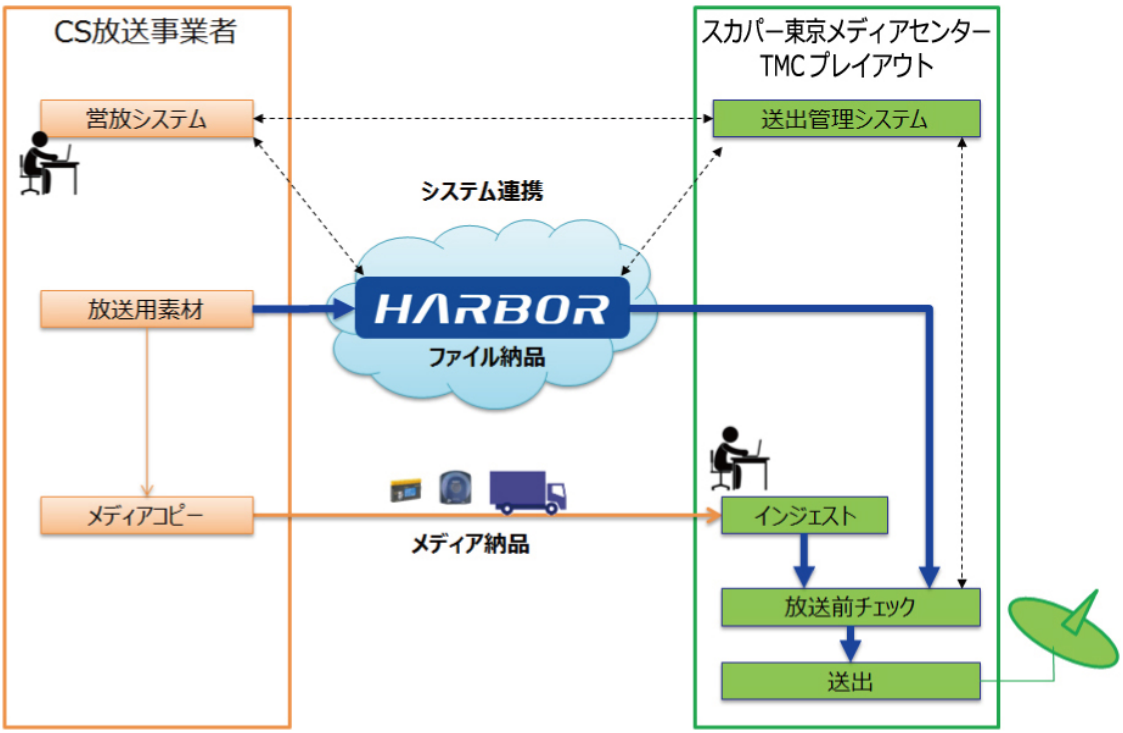
今まで放送局へのファイル納品としては、一部の放送局で系列間でのやり取りや、実証実験は行われてきましたが、CS　放送事業者などの外部企業からの番組ファイル納品をネットワーク経由で本格運用するシステムを稼働させるのは、日本ではスカパーJSAT が初めてとなります。

■ 放送事業者の現状と導入の背景

近年のノンリニア編集機やファイル収録カメラの普及に伴い、映像業界でもファイルベース化が加速しています。しかしその一方で高画質の大容量ファイルを高速に安定的に届ける手法が確立されておらず、一般的には汎用性のあるリムーバブルメディア（HDD など）にコピーし、それを持ち運ぶといった従来のテープベースのワークフローと変わっていないのが実情です。

スカパーJSAT　でも他の放送局と同様に、主はテープ納品で、一部は XDCAM　等のメディア媒体で納品されているものの、それらは郵送で納品されていました。

今回の番組ファイル納品プラットホームは、TMC プレイアウトの送出管理システムとの連携で TMC プレイアウト側の作業負荷軽減を実現するだけではなく、放送管理をしている営業放送システム（以下：営放システム）とも連携しているので、CS放送事業者は既存の運用を変えることなく利用することができます。



スカパーJSAT　番組ファイル納品プラットホーム概念図

■ スカパーJSAT が CS 放送事業者からの番組ファイル納品を開始

安全なネットワーク転送をベースに、CS 放送事業者の営放システムと「HARBOR」のシステム連携機能を介し、TMC プレイアウトの送出管理システムと連携することで、人手を介さないで自動搬入できる「ファイル搬入システム」を構築しました。これによりメタ情報の多重の手入力などが不要となり、正確でかつ効率化を図り、人的ミスの最小化を実現できました。特に大量な短尺素材の搬入には大きな効果があります。

また、本格的なネットワークを介したファイル搬入の運用においては、公衆回線に対する配慮が重要になります。過去におけるファイル転送では、片方の遅い回線側に引っ張られ、効率的なネットワーク搬入は困難でした。「HARBOR」では、CS 放送事業者の回線とスカパーJSAT の回線速度に大きな差異がある場合でも、お互い回線速度を最大化できるように、中間に高速なストレージクラウドを設置し、お互いの回線速度を最大化し、全体のスループットを向上しています。また、安価な回線を2本3本束ね、2 倍 3 倍の速度を実現し、同時に1本の回線が滞っても、もう1本の回線で転送を継続できるように、回線の効率化と速度の最大化を同時に達成し、ネットワーク運用への準備を整えています。

また上記の中間の高速ストレージ機能により、一旦その中間ストレージまで転送できれば、何らかの障害による再転送が必要な場合であっても、CS 放送事業者から再度送る必要がなくなります。

■ CS放送事業者の利用メリット

CS放送事業者は、「HARBOR」をご利用頂くことで、以下のようなメリットを得ることができます。

・現状の運用のまま導入が可能

現状の運用を変えずに、テープベースの運送による納品との並行運用をしながら、ファイル納品への移行が可能。

・入力ミスや入力作業負荷の軽減

既存の営放システムと連携しているので、再度同じ情報を入力して頂く必要はありません。営放システムの内容がそのまま引き継がれます。

・納品までの納期短縮

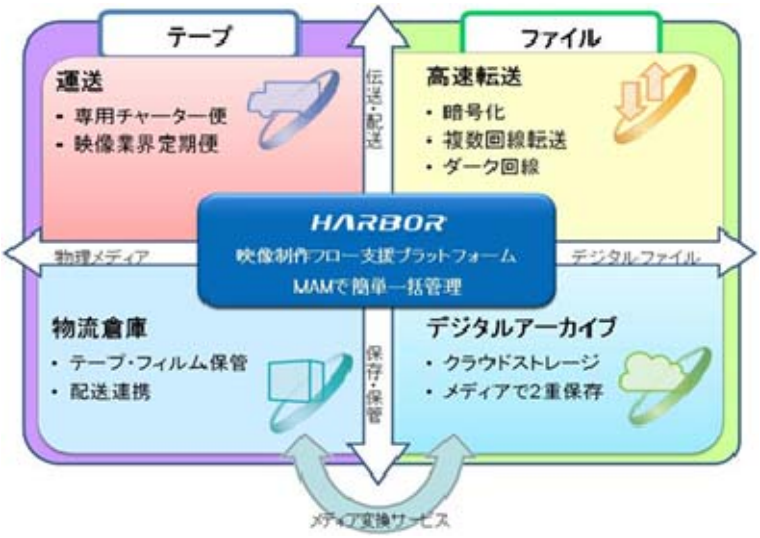
現状、番組の原版となるメディアから、納品先ごとに納品用メディアをコピーし郵送していますが、その負荷が大幅に軽減されます。

番組ファイルを XDCAM 等のメディアにすること無く、直接ファイル納品が可能となり大幅に納期の短縮が可能になります。

■ 「HARBOR」サービスの概要

「HARBOR」は、映像データの高速転送、デジタルアーカイブ並びにテープ・フィルムなどの物理メディアの倉庫管理、および運送の 4 つのサービス機能を相互に連携させ、映像制作におけるフローとフローの隙間を結びつけ、「HARBOR」内で行き来する映像データ（物理メディアも含む）の一括管理を可能にする MAM（Media Asset Management）を中核にコストパフォーマンスの良い高速回線とをワンパッケージにした映像業界向けの専用サービスです。

このサービスを利用することにより、撮影現場において数時間かかっていた撮影データのコピー作業の削減や HDD の紛失による情報漏えいのリスクが無くなります。また最終的な納品先である局へのシステム連携を、経路暗号化/ファイル暗号化および同一性保証/ウイルス対策/アクセス制御をはじめとした高度なセキュリティで高速転送することで、撮影から編集、編集から納品、さらには納品＋過去メディアの倉庫管理まで、クリエイティブな作業以外の映像制作における管理負荷の削減と効率化が図れます。



■ 「HARBOR」サービスの機能説明

・高速データ転送機能

公衆回線（フレッツ光、NURO）を複数本まとめて1本の回線のように転送するバルク転送と、専用光回線のダーク回線による高速転送をご提供します。

・デジタルアーカイブ機能 ※

大容量データでも転送時に、大容量かつ高速なクラウドストレージを経由する事により、正副2種類のメディア（LTO とブルーレイディスク）へのバックアップサービスをご提供します。

・物流倉庫機能 ※

弊社と提携する倉庫会社の入出庫管理システムとダイレクトに連携することにより、「HARBOR」の管理 WEB 画面(MAM)より直接、倉庫会社へ入出庫指示をすることが可能な機能になります。

・運送機能 ※

映像業界の定期便として、都心を中心とした限定地域にてバイク便よりも安く、宅配便よりも早くお届けできる定期便サービスをご提供します。

※スカパーの標準サービスでは対応していません。

■ スカパーJSAT株式会社様について

設立 ： 1994 年 11 月 10 日
代表者 ： 代表取締役 執行役員社長 高田真治
住所 ： 東京都港区赤坂 1-14-14
事業内容 ： 日本で唯一、アジア最大の有料多チャンネル放送・衛星通信事業者。
日本最大の有料多チャンネル放送「スカパー ！」を展開する有料多チャンネル事業と、そのバックボーンにある、アジア最大の 16 機の通信衛星を保有する宇宙・衛星事業の 2 つの事業を展開。

【お問合わせ窓口】
株式会社フォトロン HARBOR プロジェクト 担当：加藤、安藤
電話：03-3280-1892 FAX：03-3280-1893 電子メール：harbor-sales@photron.co.jp
〒102-0071 東京都千代田区富士見 1-1-8 千代田富士見ビル URL: http://www.photron.co.jp